

## 11. 資料

### ① 緑地の管理・活用に対する市民ニーズの把握(府民ニーズ調査)の詳細

資料 1. 先進事例調査 6.13(浜松市)	69
資料 2. 地域資源の現地調査 (写真) 8.6	72
資料 3. 竹材を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 (竹の箸試作品PRチラシ フクロウの森再生プロジェクトPR資料 アンケート用紙 アンケート結果) 9.13 及び 14 岸和田市立浪切ホール祭りの広場	74
資料 4. 竹材を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 11.9 阪和道岸和田SA下り線	81
資料 5. 竹材を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 12.7 農産物直売所「愛彩ランド」	84
資料 6. 地域の景観作物の試験栽培と地域住民の意見聞き取り 10.15 市立山滝小学校	87
資料 7. 地域の景観作物の試験栽培と地域住民の意見聞き取り 27.2.2 市立山直南小学校・幼稚園	88
資料 8. 里山林等の管理・活用活動への参画や、費用負担について 11.16 愛彩ランド近傍の竹林	89
資料 9. 管理されていない緑地の保全活動への参画について 12.7 愛彩ランド	96

### ② 農地の管理・活用に対する市民ニーズの把握(府民ニーズ調査)の詳細

資料 10. 地元農産物を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 8.26 I-siteなんば	100
資料 11. 地元農産物を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 12.14 丘陵地区近傍農地	107
資料 12. 大阪学院大学生による収益確保方策を検証する実証実験 11.1 NHK大阪放送局南側	110

### ③ 地域資源(緑地・農地)の管理・活用に対する市民ニーズの把握(府民ニーズ調査) 総括表

資料 13	122
-------	-----

### ④ 参考資料

資料 14. 大阪府アドプトフォレスト制度	126
資料 15. バイオマス加工施設に対する支援事例	129

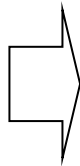
I 竹の有効活用について（丸大鉄工株式会社）

里山の保全に際し、伐採された竹の活用を行い、収益を確保することにより持続的な緑環境の創出に繋がるよう実証実験を行うものである。

竹の有効活用として、伐採した竹をチップ機によりパウダー加工し、作成された竹パウダーをプラスチックと混合し、竹プラスチック製品として加工、販売した際の収益モデルをアンケート等により検討を行うものである。



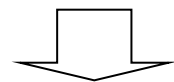
協同による竹の伐採作業



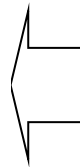
伐採した竹を運搬



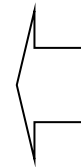
丸大鉄工にてパウダー加工



試作品へ



竹プラスチックの完成



プラスチックと混合

【考察】

竹をパウダー処理する機械の選定に当たっては、福岡県八女市にてヒアリングを行い、丸大鉄工(株)が製造販売している「パンダⅡ」が実績等を考慮し、現時点での実証実験には相当であると判断し、依頼したものである。実際にパウダー加工された竹材は、プラスチック製品としての機能を有するものとして評価でき、収益を十分に確保できるものであった。今後は、商品化に向けた消費者のアンケート等により販売面での調査が必要である。

## Ⅱ 市民参加型の緑地環境の保全について（浜松花博）

市民が主体となった緑地環境の保全に関し、浜松花博を視察、その取り組みと内容について確認するものである。

また、修景緑地環境の創出による来訪者の満足度を得て、収益確保につながるような情報収集を行った。



市民参加型の花壇づくり



体験型の花のブーケづくりと展示



地域資源を活用した花壇づくり



修景作物（お茶畑）の緑保全



竹材を活用した花壇づくり







バラを活用した緑空間づくり



まとまったバラの修景づくり



体験学習風景



収益を確保する花の販売

#### 【来場者ヒアリング】

- 季節感のある花を見て楽しかった。
- 入場料は決して安くないが楽しめた。
- 花のブーケづくりなど体験してみたい。
- 展示の仕方が多様であり見ていて飽きなかった。
- 維持管理にお金がかかっている
- 果物などの花を初めて見る事が出来て良かった等

#### 【考察】

修景緑化する事により見せる緑地環境は十分に収益を得るものではあるが、維持管理に費用がかかり、現実的には困難。

しかしながら、体験型の緑地保全や花のブーケづくりなど季節感のあるイベントを通じて収益方策を検討できると感じた。

また、竹材を使った柵や花壇づくりなど本地区に活用する事が可能な取組や、市の花である「バラ」を使った取り組み、お茶畑などの修景作物の活用など大いに参考となった。

日時 平成26年8月6日(水)

場所 岸和田市役所

丘陵地区 ボランティア活動による竹の伐採現場

丘陵地区整備課現地事務所

市内人参彩誉実証栽培圃場

### 現地調査内容 (写真参照)

- ① ボランティア活動による竹の伐採状況
- ② 伐採した竹の状況
- ③ 竹をチップ化に粉碎したもの
- ④ 竹をミンチ状にしたもの(農地たい肥に利用)
- ⑤ 竹パウダ(プラスチックに混入製品化)
- ⑥ 人参彩誉実証栽培

### 計画図書収集

- ① 丘陵地区環境形成計画 (平成23年12月 岸和田市)
- ② 岸和田丘陵地区のまちづくりを楽しむヒント集 (平成26年7月 岸和田丘陵地区まちづくり協議会)
- ③ 岸和田丘陵地区における都市計画について (平成26年3月25日都市計画決定)
- ④ フクロウの森再生プロジェクト



《8月6日現地調査》

地域資源の現地調査（8月6日）



ボランティア活動による竹の伐採



伐採した竹



竹をチップ化に粉碎



竹をミンチ状（農地堆肥）



竹パウダ



人参彩誉実証栽培

- (1) 日時 平成 26 年 9 月 13 日(土)14 日(日) 午前 10 時から午後 6 時まで
- (2) 場所 岸和田市立浪切ホール祭りの広場
- (3) 行事 第 4 回きしわだ城下町フェア  
(主催きしわだ城下町フェア実行委員会 岸和田商工会議所等で構成)

(4) アンケートの実施方法

フェアにブースを出店

「ふくろうも安心：竹を使ったエコなお箸」のキャッチフレーズで、竹林を守る取組を、看板、試供品等で府民に説明。

試供品(竹の箸)を受け取った人、試供品(人参ジェラード)を購入した人、関連グッズ(フクロウをデザインしたTシャツ等)を購入した人、ブースの展示内容に興味を持った人を主に、アンケートを聴取した。

- (5) 試供品の配布 竹の箸(竹粉をプラスチックに混ぜ加工したもの) 50 膳を配布。

(6) 試供品の販売実証実験(人参ジェラード)

岸和田生まれのにんじん彩誉がたっぷり入った人参ジェラードを試験販売。

13 日は、300 円で、36 個販売。14 日は、250 円で、50 個販売。

(7) 販売の実証実験の評価

品質より、売値が非常に影響している。

ジェラード自身の値ごろ感も適正価格での打ち出しが必要。

(8) 関連グッズの販売(岸和田市在住のデザイナーがデザインした、ふくろうグッズ)

Tシャツ 3,800 円 Tシャツ子供用 2,000 円 レディース 3,800 円

ポロシャツ 4,300 円 マフラー 1,850 円

アクセサリー iphone ケース 1,620 円

2 日間で、13 着を販売。販売額 41,920 円

## 岸和田丘陵の竹で作った

### 「竹プラスチックでできたお箸」のアンケート



岸和田の山手丘陵には農地や里山など豊かな自然が広がっていますが、放置竹林拡大から日々そういった環境が喪失しています。

そこで、竹を単に処分するのではなく、竹を加工した製品を作成することで環境にやさしい「竹プラスチックのお箸」を作成しました。このお箸を皆さんに買って頂く事により得られる収益で、放置竹林の改善につながります。

#### 【アンケートです】

岸和田丘陵の自然を、みんなで守る地元の皆さんの活動を支援するために、この竹をいくらなら、購入されますか。

答えの番号に○をお願いします。

- ① 100円      ② 150円      ③ 200円      ④ 300円以上      ⑤ 買わない



みなさんへ、

少子高齢化時代を迎えた今日、各地域では、行政に依存しない自立した社会の仕組みづくりが求められています。

私たちは、農地や里山を、市民・企業を含めた幅広い連携で持続的に管理するための、収益方策の検討を進めています。アンケートのご協力ありがとうございました。

平成26年9月13日14日 岸和田丘陵みどりの収益方策検討会

(岸和田市、JAいずみの、岸和田商工会議所、大阪府土地改良事業団体連合会で構成)





## 「岸和田フクロウの森再生プロジェクト」

### 竹で作った「はし」のアンケート

“fuku・Pula”のお箸

岸和田の丘陵地区には農地や里山など豊かな自然が広がっており、そのシンボルである「フクロウ」が生息しています。しかし、放置竹林が拡大し、「フクロウ」の生息環境が日々侵されています。

そこで、この竹を有効に活用するために、伐採した竹と植物性のプラスチックを混合して「**エコなお箸（fuku・Pula）**」を作成しました。

このお箸を皆さんにお使いいただくことで、竹の有効利用が図られ、「フクロウ」が安心して棲める森づくりを応援していただくことにつながります。

#### 【アンケートです】

「フクロウ」が棲む森づくりを皆さんに応援をお願いするために、この「**エコなお箸（fuku・Pula）**」をいくらなら買って頂けますか。  
答えの番号に○をお願いします。

①100円

②150円

③200円

④300円以上

⑤買わない



#### （アンケートにご協力頂いた皆様へ）

子高齢化時代を迎えた今日、各地域では、行政に依存しない自立した社会の仕組みづくりが求められています。

私たちは、農地や里山を、市民・企業を含めた幅広い連携で持続的に管理するための、収益方策の検討を進めています。アンケートのご協力ありがとうございました。

平成26年9月13日 14日 岸和田丘陵みどりの収益方策検討会

（岸和田市、JAいずみの、岸和田商工会議所、大阪府土地改良事業団体連合会で構成）

## 調査① 竹材を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査

### アンケート結果

- (1) 日時 平成 26 年 9 月 13 日(土)14 日(日) 午前 10 時から午後 6 時まで  
(2) 場所 岸和田市立浪切ホール祭りの広場  
(3) 行事 第 4 回きしわだ城下町フェア  
(主催きしわだ城下町フェア実行委員会 岸和田商工会議所等で構成)

(4) アンケートの実施方法

フェアにブースを出店

「ふくろうも安心：竹を使ったエコなお箸」のキャッチフレーズで、竹林を守る取組を、看板、試供品等で府民に説明。

試供品(竹の箸)を受け取った人、試供品(人参ジェラード)を購入した人、関連グッズ(フクロウをデザインしたTシャツ等)を購入した人、ブースの展示内容に興味を持った人を主に、アンケートを聴取した。

(5) アンケートの内容

岸和田丘陵の竹で作った「竹プラスチックでできたお箸」について

(6) アンケートの質問と回答

(アンケート 1 案質問 9 月 13 日実施)

岸和田丘陵の自然を、みんなで守る地元の皆さんの活動を支援するために、この竹の箸をいくらなら、購入されますか。

答えの番号に○をお願いします。

- ① 100 円 ②150 円 ③200 円 ④300 円以上 ⑤買わない

回答 総数 66

① 100 円	回答数	2	3 %
② 150 円		5	8 %
③ 200 円		22	33 %
④ 300 円以上		37	56 %
⑤ 買わない		0	

(アンケート 2 案質問 9 月 14 日実施)

「フクロウ」が棲む森づくりを皆さんに応援をお願いするために、この「エコなお箸 (fuku・Pura)」をいくらなら買って頂けますか。

答えの番号に○をお願いします。

- ① 100 円 ②150 円 ③200 円 ④300 円以上 ⑤買わない

回答 総数 98			
① 100円	回答数	3	3%
② 150円		11	11%
③ 200円		37	38%
④ 300円以上		47	48%
⑤ 買わない		0	

(7) 個別意見(アンケートの際の聞き取りによる)

- ・自分も、ボランティアをしています。
- ・活動を考えると、もっと値段が高くても良いのではないか。
- ・デザインを工夫してほしい。ふくろうの絵を箸に描いてもよいのでは。
- ・重たいほうがよい。
- ・細いほうがよい。
- ・光らすような塗りをして高級感を。
- ・先をつまみ易くして。

(8) アンケート結果と考察

① アンケート結果

回答 総数 164			
① 100円	回答数	5	3%
② 150円		16	10%
③ 200円		59	36%
④ 300円以上		84	51%
⑤ 買わない		0	

② 考察

- ・200円 36% 300円以上 56%という結果。
- ・放置竹林を改善する活動に、資金を支援したいと、値段を決めた方が多い。
- ・「森林の保全」「フクロウの棲める環境づくり」をしっかりとPRすれば、収益確保につながるのでは。



ふくろうも安心！！

# 竹を使ったエコなお箸



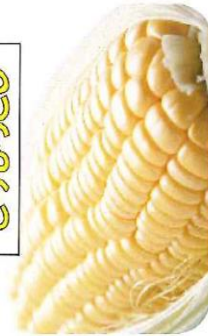
竹林



竹パウダー



とうもろこし



生分解性樹脂



エコ箸



## 竹ととうもろこしの良い関係

- このお箸は、株式会社岩本金属製作所さんが竹とトモロコシ由来の生分解樹脂(PLA)から作ったもので、100%植物由来の原料採取から廃棄までの二酸化炭素排出量の削減による環境にやさしい製品です。



岸和田市では、このほかにも 竹を資源として利活用するさまざまな取り組みを今後おこなっていきます。

### お問い合わせ

岸和田市役所  
丘陵地区整備課 (072-423-9658)  
農林水産課 (072-423-9490)

(岸和田丘陵みどりの収益方策検討会)



# フクロウの森再生プロジェクト募金

～あなたの募金がふくろうの森づくりを応援します。～



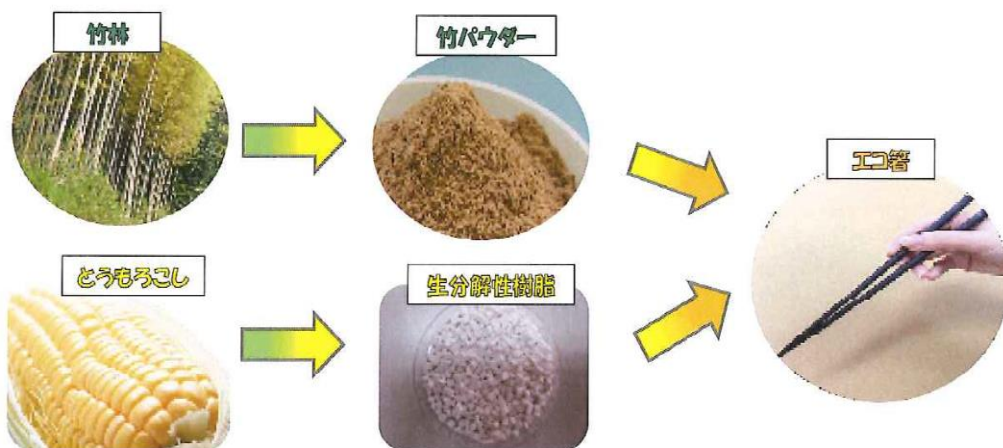
みなさまにいただいた募金は、岸和田丘陵地区内のフクロウの生息できる森づくり(里山の保全、植樹活動、水辺づくり等)の活動支援に大切に使用されます。

## 『フクロウの森再生プロジェクト』とは・・・

岸和田丘陵地区内に生息するフクロウの森づくりに向け、里山の保全や、植樹活動、水辺づくりなど、豊かな生態系を再生する取組みを、市民・地域・企業のみなさんと一緒に進めています。

岸和田市・岸和田丘陵地区まちづくり協議会

## 竹を使ったエコなお箸



### 竹ととうもろこしの良い関係

- このお箸は、株式会社岩本金属製作所さんが竹とトウモロコシ由来の生分解樹脂(PLA)から作ったもので、100%植物由来の原料採取から廃棄までの二酸化炭素排出量の削減による環境にやさしい製品です。



(岸和田丘陵みどりの収益方策検討会)

Norwegian  
BambooProject

11月9日（日）フクロウの感謝祭 阪和道岸和田サービスエリア下り線

### アンケートの主旨

岸和田の丘陵地区には農地や里山など豊かな自然が広がっており、そのシンボルである「フクロウ」が生息しています。しかし、放置竹林が拡大し、「フクロウ」の生育環境が日々侵されています。

そこで、様々な人たちにご参加いただいで竹伐採や植樹など、森の再生活動を実施しています。

また、伐採した竹を有効に活用するために、伐採した竹とプラスチックを混合したエコなお箸を作成・販売するなど「フクロウの森」の再生に向けて幅広い取組みを進めています。

### アンケートの内容

「フクロウ」が棲む森づくりに参加したいと思いませんか。

- ① 参加したい ② 参加しないが応援したい ③ 参加しない

### 回答

参加したい 12名

参加しないが応援したい 4名

森づくりに興味がある。

家のそばに、ほったらかしの竹藪がある。

自然を大切にしたい。

田舎育ちはみんなそう思う。

フクロウはかわいい。

山に入ったら、ゴミをほかさないように頑張る。

フクロウが大好き。保護したい。

16日の山のイベントにも、参加を申し込んでいます。

参加しないが、500円だったら寄付します。



# 岸和田 フクロウの感謝祭

～フクロウが教えてくれる自然の大切さ～

日時：平成26年11月9日（日）

AM 11時からPM 2時まで

場所：阪和道 岸和田サービスエリア

（下り線・和歌山方面行き）

※天候によりイベント内容を一部変更する場合がありますので  
あらかじめご了承ください。



【問合せ先：10時～19時】

岸和田サービスエリア 下り線

岸和田近鉄レストラン

TEL 072-479-2271

共催：岸和田市・近畿日本鉄道株式会社



あさい しょうはく

浅井将皓氏が描く

“福来朗（ふくろう）”の世界

岸和田だんじりや仏画で著名な  
浅井将皓氏が描くフクロウの※墨彩相画  
を是非ご覧ください！

HAKUSHU-AN 伯舟庵

※墨彩相画とは、心に浮かぶ物や概念を墨と彩色で描いたものです。



## フクロウの森再生プロジェクト

パネル展示のほか、フクロウ  
が棲める森づくりで伐採した竹  
を原料にした

“fuku・Pura”のお箸を販売！

収益の一部はフクロウの森づくりに寄付されます

本物の“フクロウ”が  
岸和田サービスエリア（下り）に登場!!

本物の生きたフクロウとの無料撮  
影会を実施します。どんなフクロウ  
がやって来るかはお楽しみ！

（雨天時は中止する場合があります）（岸和田丘陵みどりの収益方策検討会）





# 調査①竹材を活用した試供品の提供による市民ニーズ調査

(平成 26 年 11 月 9 日 フクロウの感謝祭)



全景



ふくろう その1



フクロウその2



商品販売



サービスエリア内

## 調査① 竹材を活用した試作品の提供による市民ニーズ調査 資料5

12月7日（日）フラワーアレンジメント教室 道の駅「愛彩ランド」

9名参加

花器は、アドプトフォレスト活動で民間企業が11月に伐採した竹を、市職員が11月24日から12月5日まで仕事の合間を見つけて加工。

参加者の感想

楽しかった。（全員）

色々な交流活動に、これからも参加したい。（複数の人）

花器が出回っていない。500円だったら買います。（講師）





※写真がイメージです。当日のプログラム内容と異なる場合がございます。

## フラワーアレンジメント教室開催 ～アレンジメントで迎えるお正月～

開催日

平成**26**年**12**月**7**日(日曜日)

午後**1**時～午後**3**時

場所

道の駅「愛彩ランド」内「**学びの館**」

材料費：**1,000円**

定員：**15名**(先着順)

持ち物：**花切バサミ・くだものナイフ(食器のナイフ可)・  
ぞうきん・作品持ち帰り用袋・ごみ持ち帰り用(ビニール袋、新聞紙)**

※参加ご希望の方は、下記申込み先へ①氏名②住所③ご連絡先を記載し、ファックス又はメールにてお申し込みください。

申込み先

〒598-8501 岸和田市岸城町7番1号

岸和田市役所まちづくり推進部丘陵地区整備課

☎072-423-9858 ファックス072-423-2288

E-mail kyuryo@city.kishiwada.osaka.jp



(岸和田丘陵みどりの収益方策検討会)

## 講師のご紹介

**博田 佳織** さん  
(はかた かおり)



### プロフィール

10代の頃からフラワーデザイナーに師事。  
大阪市内のフラワーショップにて5年間勤務。  
岸和田在住の久川千代フラワーデザインルーム  
久川千代先生を師事。  
2000年頃より自宅にて教室を始め、店舗装  
飾なども手掛ける。

### 資格など

- ・中興未生流 教授
- ・FDAフラワーデコレーター 2級
- ・FCCフラワーカラーコーディネーター 2級



(岸和田丘陵みどりの収益方策検討会)